

PCB除去分別

PCB除去分別の考え方

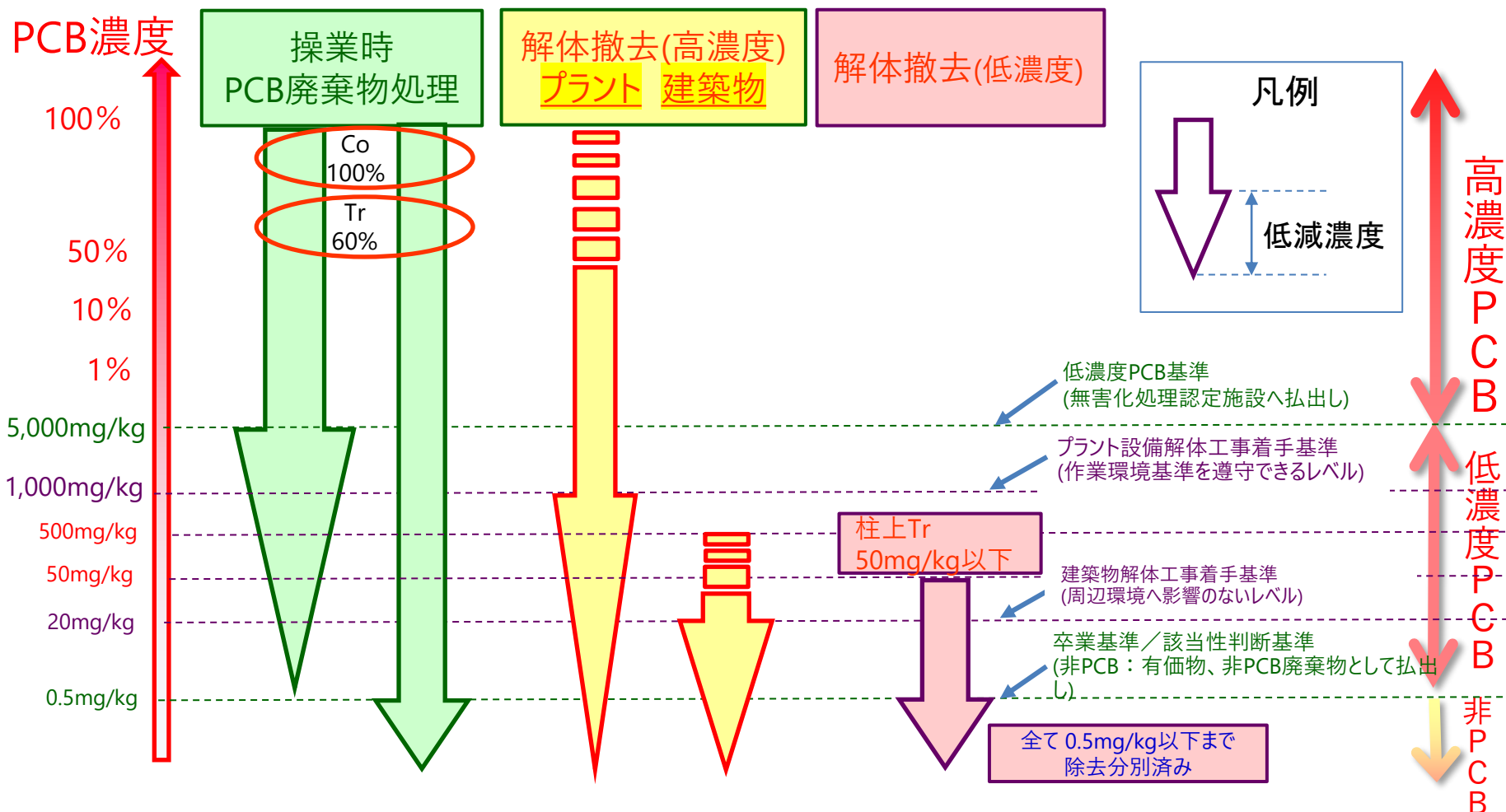
- PCBの除去分別とは、解体撤去工事の対象となるプラント設備や建築物に残存あるいは付着したPCBを、洗浄や拭き取り等により、解体工事着手基準以下の低濃度PCBレベルになるまでPCBを除去して分別するものである。
- PCB除去分別の作業前にはPCB付着状況調査を実施し、高濃度PCBが残存している部位や低濃度であるが、さらに解体工事着手基準以下まで低減が必要な箇所等について、PCB除去分別の範囲とPCB濃度を把握する。

PCB除去分別

解体工事着手基準 (PCB除去分別作業におけるPCB濃度低減目標値)

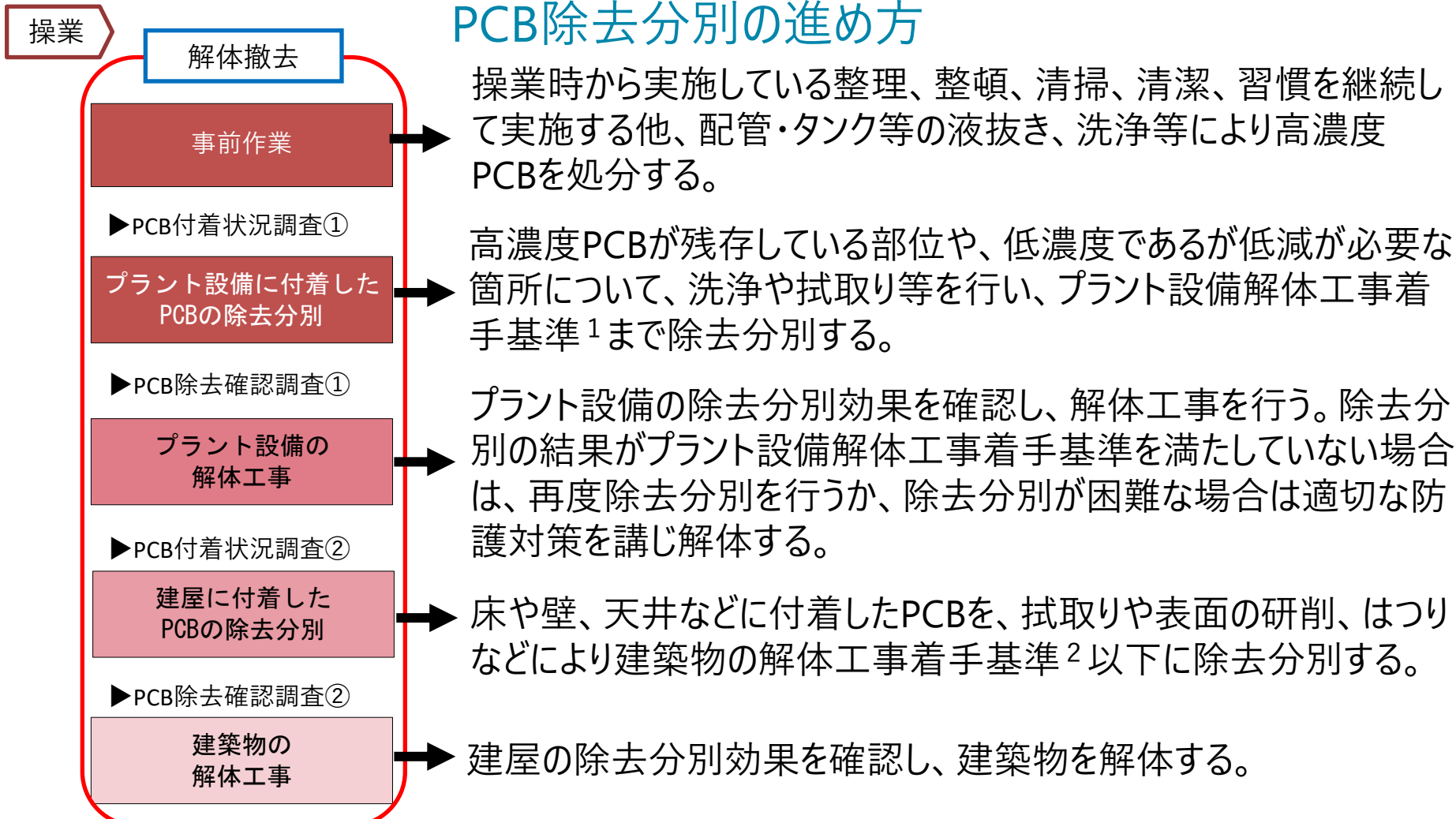
プラント設備； 1,000mg/kg以下(解体撤去工事における作業環境基準を遵守できるPCB濃度)

建築物； 20mg/kg以下(周辺環境へ影響を与えないレベル)



PCB除去分別

PCB除去分別の進め方



1…洗浄液:1,000mg/kg、拭取り試験:200 μ g/100cm² (最大1,000 μ g/100cm²) 2…建屋内のPCBとダイオキシン類の作業環境濃度が管理濃度以下、かつ建築部材のPCB濃度が20mg/kg以下もしくは拭取り試験で4 μ g/100cm²

★低濃度PCB付着レベル…含有量試験:0.5mg/kg<値 \leq 5,000mg/kg、拭取り試験0.1 μ g/100cm²<値 \leq 1,000 μ g/100cm²